

双葉西小だより

令和7年 6月20日 文責 校長



「梅雨」の時期です。なぜ梅雨というのか、3つほど説があるようです。①この時期、梅の実が熟することから梅雨と呼ばれるようになった、②この時期は湿度が高くカビ（黴）が発生しやすいため、もともとは「黴雨（ばいう）」と使っていた字を「梅（ばい）」に改めた、③熟した梅の実が潰れる「潰ゆ」や、湿気で露がつく「露（つゆ）」から転じ、「梅雨（つゆ）」という読みの由来となった。梅雨はジメジメしてあまりよくない印象を受けますが、連日これだけ暑いとなると梅雨も恋しくなります。

様

々

な

活

動

4月から6月までに、それぞれ学年行事が行われました。以下に写真とともに紹介いたします。



1年 学校たんけん



2年 町たんけん



3年 地区たんけん



4年 社会科見学



社会見学



震度6弱

seismic Intensity of 6 Low



6年 修学旅行



5年 林間学校



人権の花

5・6年生が人権擁護委員やその他関係者を迎え、「人権の花」の取組に参加しました。花を育てることで思いやりの心を育ててほしいと、人権の花をプレゼントされました。



人が生まれながらに持っている権利、人権。自由に考える、勉強する、安全に過ごす、差別されない…自分の権利を保障するとと

もに周りの人の権利も大切にしなければいけません。その思いが全国に広がるよう、バルーンに人権の花の種を結わえ、天高く放ちました。

後日ではありますが、この「人権の種が届きました」と、茨城県の方より丁寧なお手紙が届きました。双葉西小学校児童の活躍を願うとともに、御自身も人権の種によって励まされ、今後意欲的に生活をしたいとの内容でした。児童の思いが直接届いたことをとてもうれしく思います。このようにほかの地域、ほかの方にも人権の種が届き、人権の花の輪が広がっていくことを願います。

引取訓練

地震のための「引取訓練」への御協力をありがとうございました。甲斐市では震度5弱以上の地震があった場合、学校からの連絡如何に関



わらず、保護者に迎えにきていただくことになっております。いつ起こるとも限らない大地震、いざというときの備えや家庭での避難の仕方等、児童と一緒に確認していただくとありがたいです。

保護者の皆様へ

Q-Uの活用

Q-Uは、児童の学校生活に対する満足度や意欲を測るためのアンケートです。学校ではこの結果を受け止めクラス作りや児童個人の支援に生かして参ります。

このQ-Uの結果は家庭でも活用することができます。児童の学校生活をより良いものにするためのアドバイスにもつながると思いますので、ポイントをお伝えいたします。

1 児童の学校生活の理解を深める

Q-Uの結果を確認することで、児童が学校でどのように感じているのかを知ることができます。結果をもとに、児童と学校生活について話し合い、気持ちを共有することが大切です。

2 児童の自己肯定感を育む

Q-Uの結果を活用しながら、児童の良い点を見つけて褒めることも大切です。学校生活に対する意欲を高めるために、「頑張っていること」や「得意なこと」に目を向け、ポジティブな声かけを心がけましょう。

3 学校との連携を図る

Q-Uの結果をもとに、必要に応じて学校と相談することも有効です。担任の先生と話し合い、児童の状況を共有することで、学校側も適切なサポートを提供しやすくなります。